



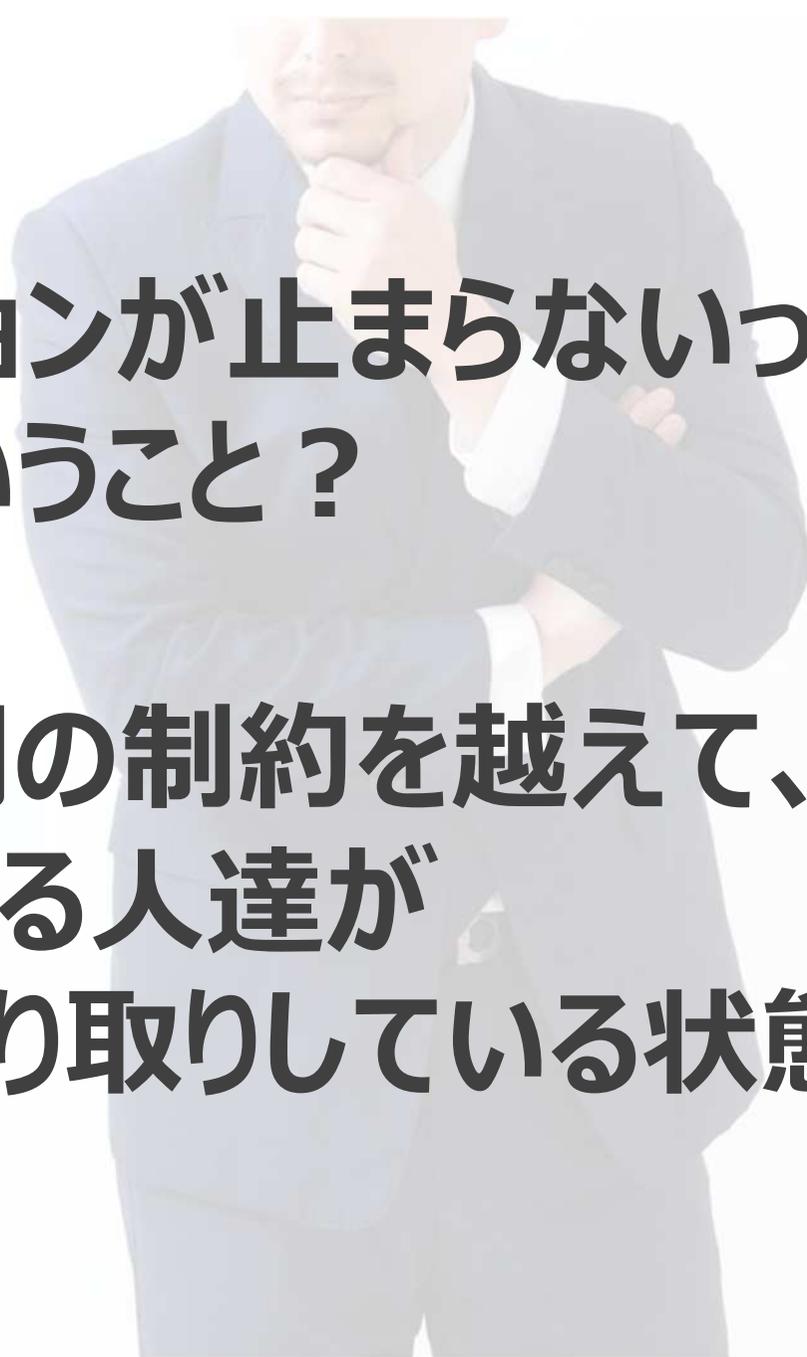
2ヶ月で始められる！

コラボレーションが止まらない働き方

※本資料は2019年1月17日に開催したWebセミナー資料を再編集しました

ネットワークシステムズ 株式会社

- 01 コラボレーションを促進するICTツール
- 02 ICTツールを利活用する働き方はどのように変わるのか？
- 03 イノベーションにたどり着くために

A man in a dark blue suit and white shirt is shown from the chest up, looking thoughtful with his hand on his chin. The background is a light, blurred office setting.

**Q. コラボレーションが止まらないって
どういうこと？**

**A. 場所や時間の制約を越えて、
あらゆる人達が
つねに情報をやり取りしている状態**



POINT

と人をつなげる役割を果たすもの = ICTツール



本セミナーでは、ICTツールを使って、
どのように止まらないコラボレーションを実現するか
についてお伝えします！

■ ネットワンシステムズとは？

社名	ネットワンシステムズ株式会社 (Net One Systems Co., Ltd.)
設立	1988年2月1日
代表者	代表取締役会長 CEO 吉野 孝行 代表取締役社長 COO 荒井 透
本社	東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー
事業内容	ネットワンシステムズは、お客様の情報インフラを最適化することで戦略的な情報活用を促進し、ご導入頂くお客様の先のお客様への貢献も見据えて支援する企業です。 そのために、常に世界の最先端技術動向を見極め、その組み合わせを検証して具現化するとともに、自社内で実践することで利活用のノウハウも併せてお届けしています。
資本金	122億79百万円 (2018年3月31日現在)
売上高	1,611億7万円 (2018年3月期)
従業員	2,295名 (2018年3月31日現在)
事業エリア	東京、札幌、仙台、つくば、名古屋、豊田、北陸、大阪、広島、高松、福岡、沖縄
グループ会社	
ネットワンパートナーズ株式会社	
ネットワンコネクト合同会社	
ネットワンビジネスオペレーションズ合同会社	
エクストリーク株式会社	
Net One Systems USA, Inc. (米国現地法人)	
Net One Systems Singapore Pte. Ltd. (シンガポール現地法人)	



■ ネットワンシステムズの働き方改革

いつでも・どこでも・誰とでも働けるワークスタイルへ



つなぐ ∟ むすぶ ∟ かわる
net one





ネットワングループ経営方針：
継続した成長



顧客満足度の向上

社員満足度の向上

業務効率の向上

業務環境の改善

多様な働き方を許容し、個々人が自律的に
働くことのできる環境の実現

ネットワンの働き方改革 5つの要素 2019年版

1. ビジョン

自らを律し、社員同士のコラボレーションを強化し、個々人、および組織全体のパフォーマンスを最大化する

2. 意識

トップからの
メッセージ発信



推進専門組織
の設置



各種研修の実施
(教育・啓蒙)



長時間労働
の是正



業務改善表彰



ダイバーシティ
推進



全社イベント
の実施



社員協議会



3. ICTツール

IP電話/
ソフトフォン



リモート会議
(ビデオ会議・Web会議)



チャット/プレゼンス/
チームメッセージング



仮想デスクトップ



モバイル活用



チーム
ストレージング



グループウェア



Office 365

位置情報検索



シングル
サインオン



4. ファシリティ

ネットワーク
(無線LAN等)



フリーアドレス



サテライト
オフィス



5. 制度・ルール

テレワーク



フルフレックス
シフト・時短勤務



多面評価



セキュリティ
規程



全社員BYOD



効果検証
(ROI・KPI)



働き方改革の取り組みで各AWARDを受賞

制度



総務省：
テレワーク先駆者百選

平成29年度
「総務大臣賞」



厚生労働省：
テレワーク推進企業等
厚生労働大臣表彰 ～輝くテレワーク賞～

平成29年度「厚生労働大臣賞 個人賞」
平成27年度「厚生労働大臣賞 特別奨励賞」



日本テレワーク協会：
テレワーク推進賞

第16回「奨励賞」
第15回「奨励賞」
第14回「優秀賞」



- ・ 自社テレワーク制度の活用
- ・ ノウハウ啓蒙による
テレワーク普及や顧客貢献

空間



日本ファシリティマネジメント協会：
日本ファシリティマネジメント大賞

第9回
「優秀ファシリティマネジメント賞」



- ・ 本社および中部支店への
ファシリティマネジメント
- ・ PDCA展開

道具



企業情報化協会：IT賞

第32回
「IT特別賞
(業務改革推進賞)」



- ・ VDIとUC
- ・ 情報漏洩ゼロ
- ・ WS変革への取り組み

01

コラボレーションを促進する ICTツール

チーム
ストレージ

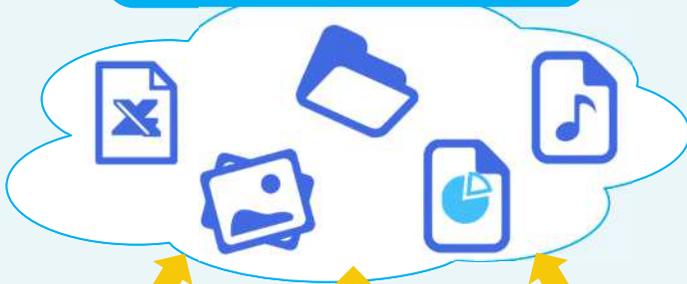
ビジネスチャット

Web会議

チームストレージング（クラウドストレージ）は、サービス事業者が自社で保持しているデータ保存領域（ストレージ）を、ユーザに提供するサービスである。ユーザはオンプレミスに設備を持たずに、ユーザ間のスムーズなデータ共有が可能になる。



チームストレージング



外出先のパソコン

スマートフォン

自宅のパソコン

コンテンツ共有基盤としての活用

内部における情報共有の活性化	外部との情報共有手段の見直し	仮想ワークスペースの構築	ファイルサーバ運用からの脱却
----------------	----------------	--------------	----------------

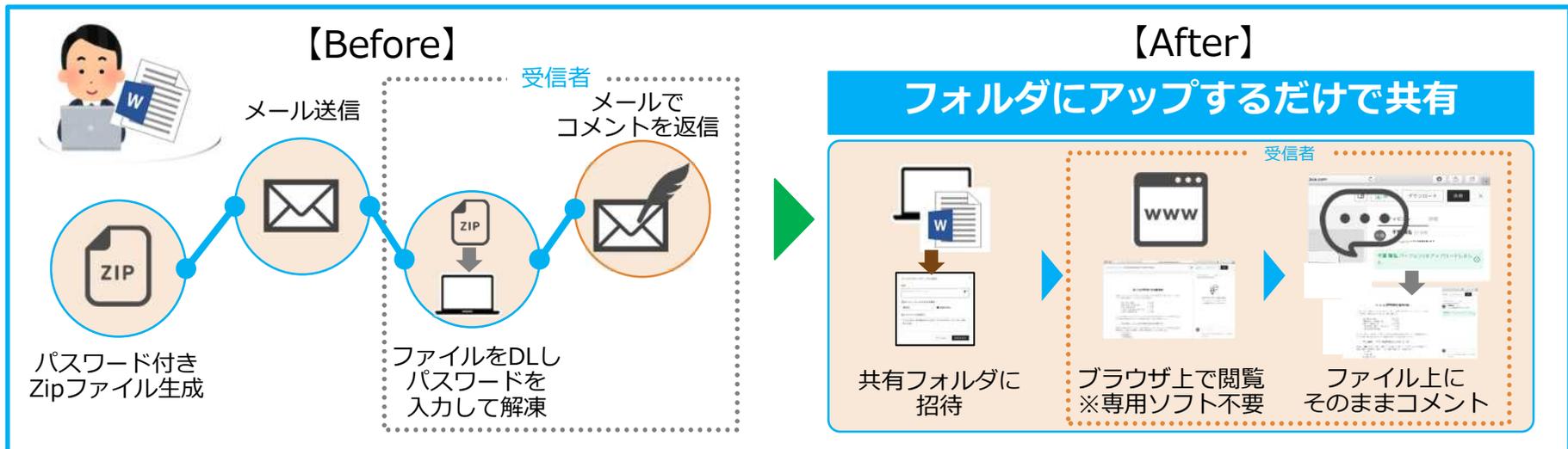
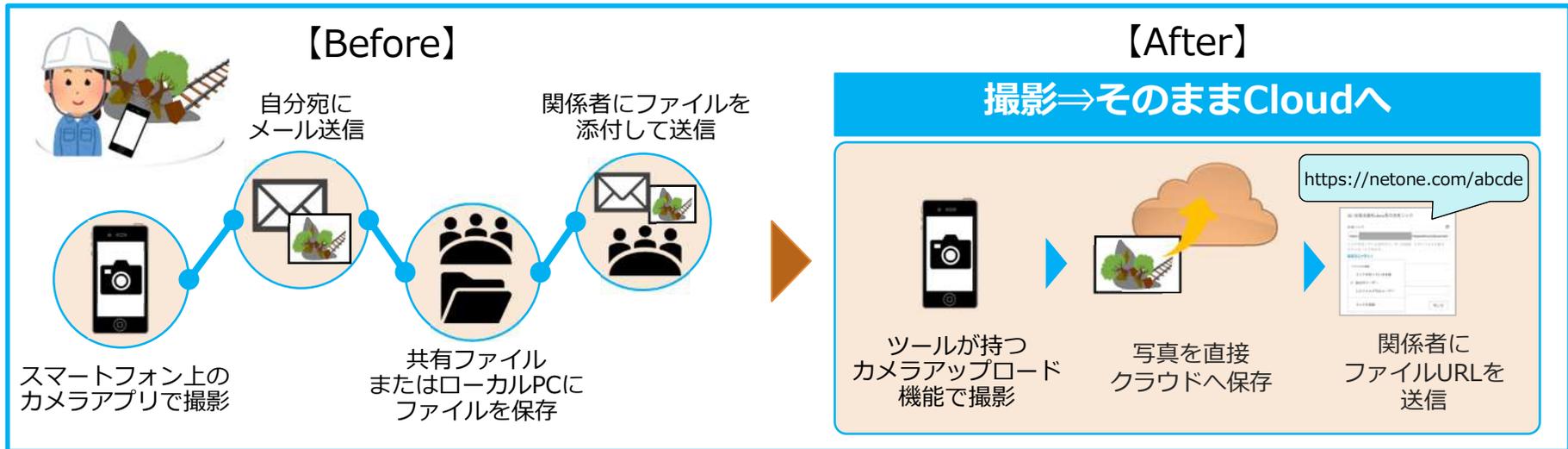
生産性向上・働き方改革基盤としての活用

モバイル対応外部からのアクセス	情報への即時アクセス	業務アプリケーション連携	紙文化からの脱却
-----------------	------------	--------------	----------

ガバナンス・リスク対策基盤としての活用

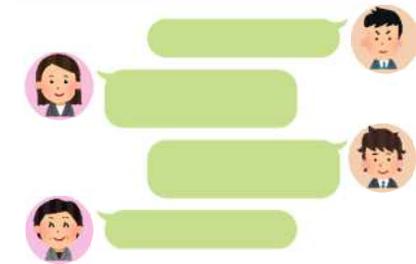
新たなリスクへの対応 ランサムウェアなどのセキュリティ脅威対策	GDPRやe-Discoveryを始めたとする 事業展開先の規制への対策	添付メールや端末紛失・個人ドライブ利用など、リテラシーに起因する 情報漏洩対策	各種監査への対応、 操作ログの取得
------------------------------------	---	--	----------------------

チームストレージを使ったコラボレーション



コラボレーションツール② ビジネスチャット

チャットとは、PCやスマートフォンを介して、文字によるリアルタイムコミュニケーションを実現できるツールである。ビジネスシーンで利用・導入されるチャットツールを「ビジネスチャット」と呼ぶ。形式的・一方通行なメールと違い、実際に会話するような感覚で気軽に使うことができるほか、1対1だけでなく、複数人でのコミュニケーションも可能。今まで打ち合わせ、電話、メールなどで共有していた事項もチャット上でこまめに共有することで、メンバー同士の連携を深めることもできる。



【Before】



- 自席にメンバーがいないと相談しづらい
- 朝、夕方以外はみんな席を外しがち

【After】

相手がどこにいても、リズミカルにコミュニケーション



- その場にいるかのようなコミュニケーションを
- 相談事項もすぐに解決

Web会議とは、資料やソフトウェアを共有するための機能に音声や映像などのコミュニケーション機能を統合させた、共同作業を行うためのコミュニケーションツールである。Webブラウザや、Webアプリケーションを利用するため、「Web会議」と呼ばれる。遠隔地のメンバーや、外部ユーザとも顔を見合わせた会議を実施することが出来る。



外出中の職員



自席



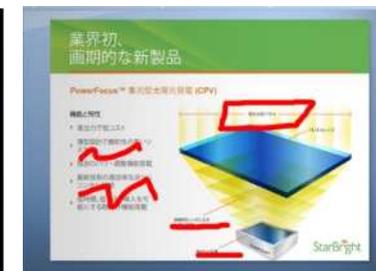
外部業者



離れた場所の相手とも顔を見合わせながら会話



音声・映像だけではなく、資料も共有



Web会議を使ったコラボレーション

<p>【Before】</p> <p>会議をしたいけど、会議室の空きがない。会議またリスケだ。</p>	<p>【After】</p>	<p>会議室の空きが無くても、ちょっとしたスペースで、画面を見ながら打ち合わせが出来る！あらゆる人とスピーディなコラボレーション！</p>
<p>【Before】</p> <p>印刷済の会議資料に修正が入った！また印刷して配り直し・・・</p>	<p>【After】</p> <p>モニタで閲覧</p>	<p>印刷物配布の手間もなくなった！みんなで同じ画面を見るため、会議の集中度が向上！進行がスムーズになり、会議の効率化を</p>
<p>【Before】</p> <p>1時間の会議のために4時間かけて本社との往復。どこからでも会議が出来たら別の作業が出来るのに・・・</p>	<p>【After】</p>	<p>Web会議を使えば、支店や自宅からも顔を見ながら情報共有が可能に！時間も有効活用できる！</p> <p>プラス</p>

02

ICTツールを利活用すると 働き方はどのように変わるのか？

ネットワークで
本当にあったこと



入社して4ヶ月
の新卒社員

まだ案件は
未経験

池田さん



上司さん

「人手が足りなくてさ…
ちょっとこのプロジェクト手伝ってくれない？」

でも大丈夫！



先ほど紹介した コラボレーションツール

チーム
ストレージング

ビジネスチャット

Web会議

これらを使った新しい情報共有のやり方を
お教えします！

■ その1：今までのやり取りに追いつけ！



いちおうプロジェクトのレクチャーは受けたけど、
わからない部分も多い・・・
今までどういう内容が、やりとりされていたんだろう・・・

その1：今までのやり取りに追いつけ！

チャットツールで過去のやり取りをすべて記録！ チャット内のリンクを参照し、最新の提案資料を確認！

ビジネス
チャット

過去のチャットログをさかのぼって
今までのやり取りを確認！



どういう流れでプロジェクトが
進んでいるのかがわかった！

チーム
ストレージング

URLで資料を共有しておけば
常に最新資料にアクセス！



本日の資料はこちらにアップしました
<https://netone.com/abcde>



から
ワンクリック
でアクセ
ス



ファイルを更新しても
URLはかわらず運用

ファイルを探す手間を
大幅に削減



どのファイルが最新資料かすぐわかる！
案件の内容を勉強させてもらおう

■ その2 : わからないことはすぐ聞こう !



プロジェクトマネージャーに
メールで質問したけど、いつ返信来るだろう・・・
うまく文章で説明できないから、
本当は資料を見ながら直接話したいけど、
外出中のようだし・・・

■ その2 : わからないことはすぐ聞こう !

チャットで不明点をすぐ質問 ! 外のメンバーと直接話したいときは、Web会議を使おう !

ビジネス
チャット

チャットを使えば
いつでもどこでもコミュニケーション !

メールだと・・・



- ・いつ開封したかわからない
- ・レスポンスが遅い
- ・文面が長い

チャットにすれば !



- ・既読かどうか分かる
- ・レスポンスが早い
- ・短文でやりとりできる



リアルタイムでやりとりできるから、
不明点がすぐ解消できた !

Web会議

Web会議で、離れた相手と資料を
共有しながら打ち合わせ !

資料共有

離れていても
コミュニケーション

回答

外出先から
回答



外出中の隙間時間で、質問に答えてもらえた !
より理解が深まった !

■ その3 : 離れていても会議の流れを確認 !



今回の客先訪問は先輩にお願いしよう。
でも、お客様がどういう発言をしていたのか知りたい・・・
その場にいなくても会議に参加できないかな・・・

■ その3 : 離れていても会議の流れを確認 !

現地と社内をリアルタイムでつなぎ、お客様先に行かなくても
会議に参加。会議中に決定した情報をすぐ把握

Web会議

客先にいるメンバーが
打ち合わせの状況を配信

社内



お客様先



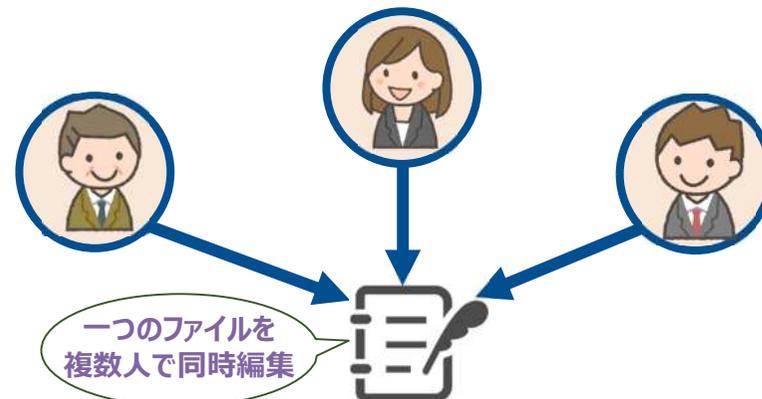
録画したデータは、クラウドに保存



お客様先には行けなかったけど、
会議中の様子がよくわかった！

チーム
ストレージング

リアルタイムで更新される議事メモ！
わからないワードもこれで確認

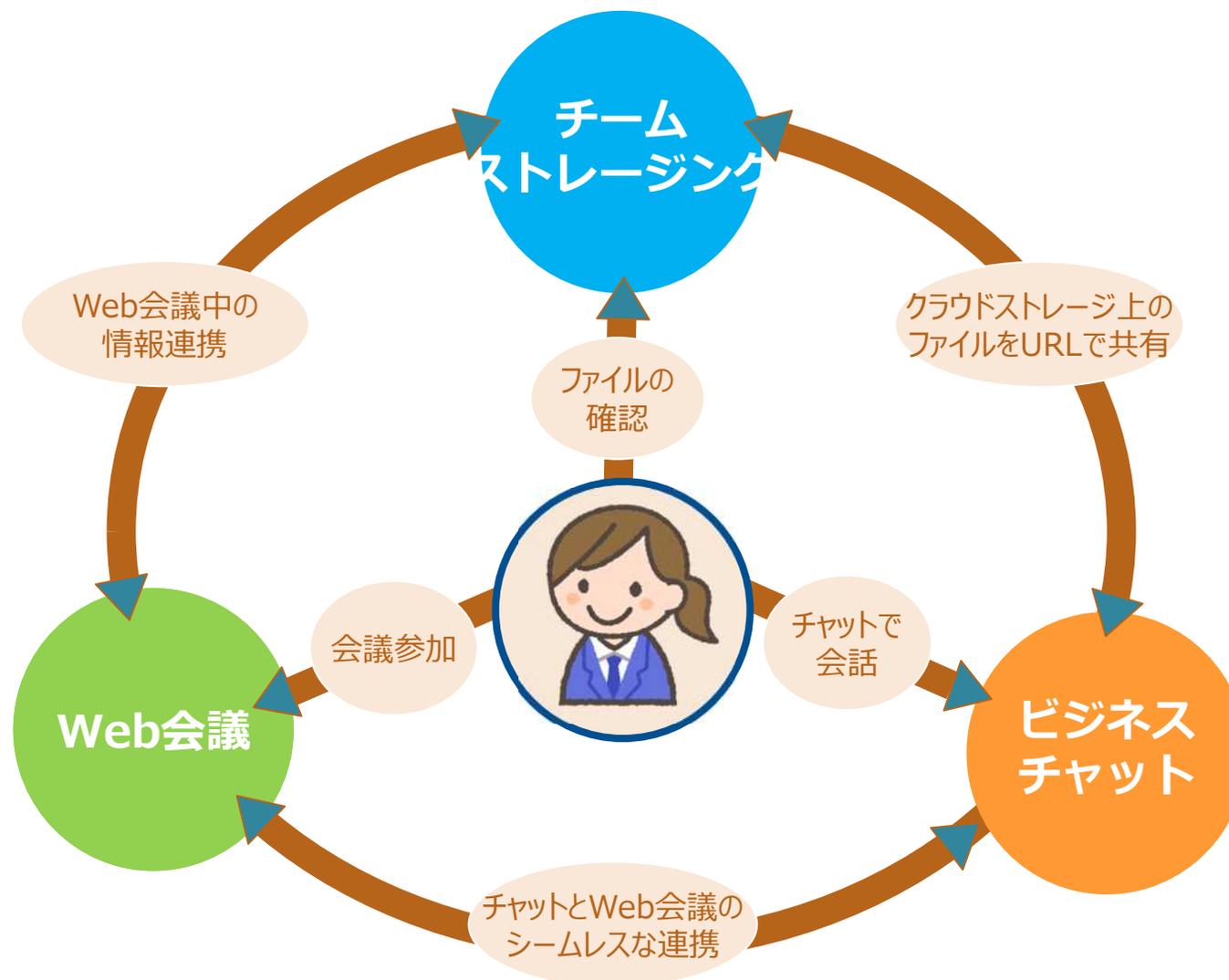


1月17日_議事メモ.docx



社内においても、リアルタイムで更新される議事メモ
を見ておけば、聞き逃しもなくなる！

情報共有をデジタル化することで・・・



あらゆる社員の業務を効率化し、 会社全体の生産性向上へ

効率UP!



チーム
ストレージング



効率UP!

効率UP!



Web会議

ビジネス
チャット

効率UP!



効率UP!



Question : 社員ひとりが「1日5分」業務時間を効率化できると・・・？

平均的なサラリーマンの時間単価¥3000

×

1日5分

×

年間営業日240日

↓

ひとりあたり6万円/年 の経費削減効果

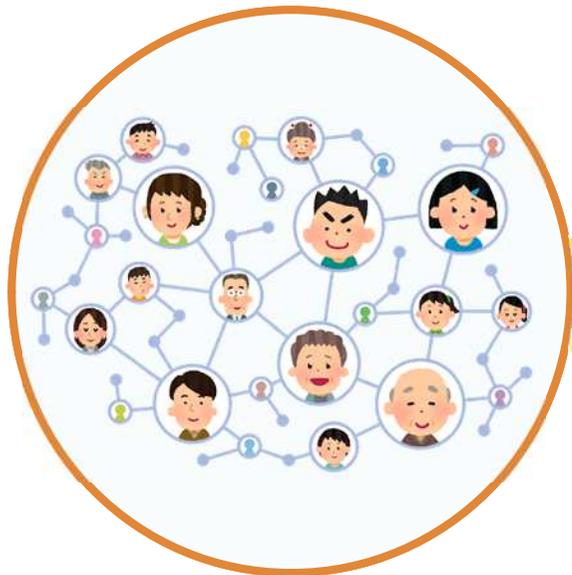
2000人の企業では、
全社で**1億2000万円**の効果に



そして

■ コラボレーションがイノベーションを生み出す 土壌に

人と人との
密なつながりによって



さまざまなアイデアも
つながり合い



新たな発想
(イノベーション) が
生まれる！



03

イノベーションにたどり着くために

ネットワークシステムズの働き方改革基盤

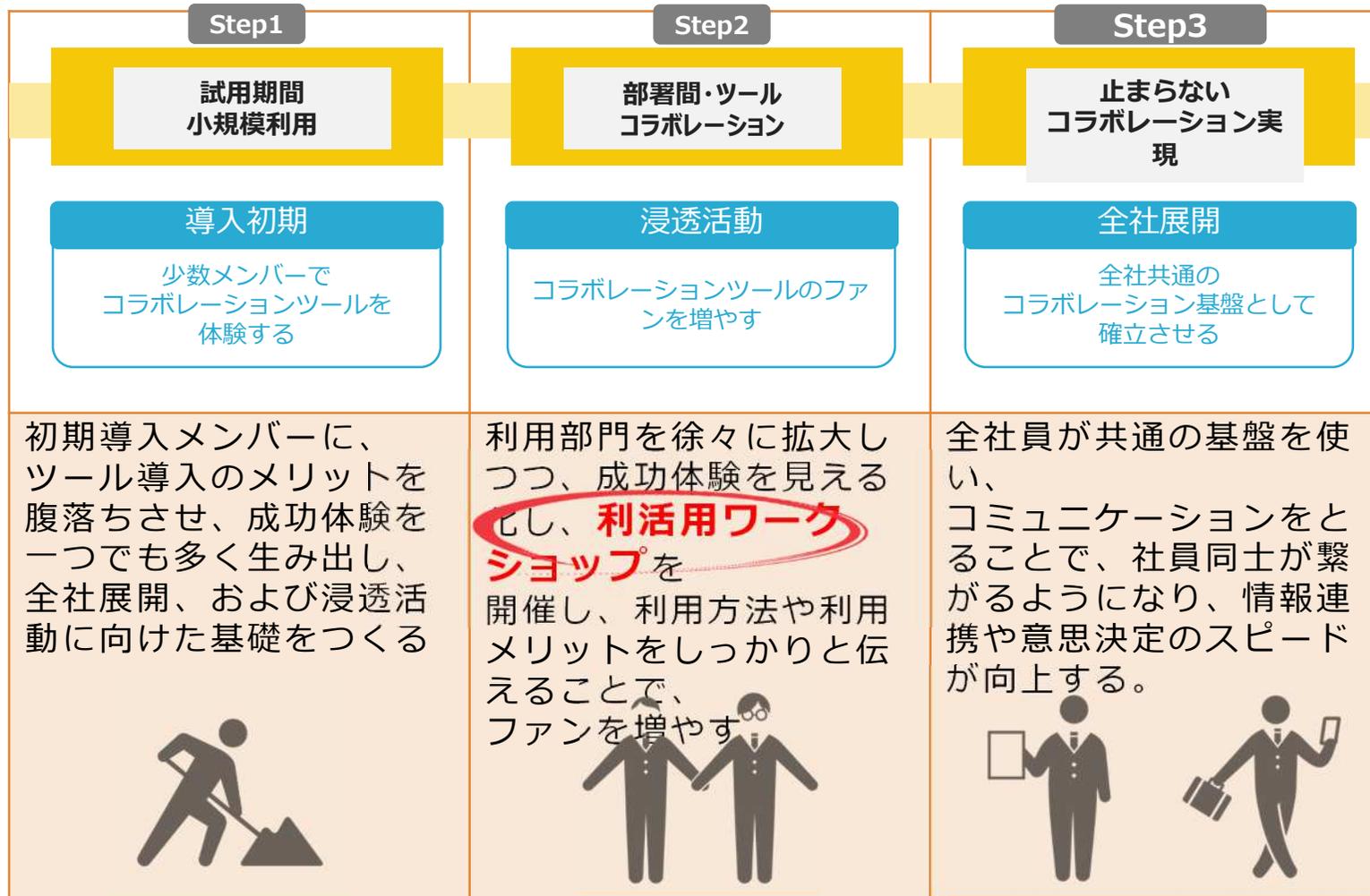


■ ネットワン事例：浸透施策とその効果

	Step1	Step2	Step3
	<p>試用期間 小規模利用</p> <p>導入初期 少数メンバーで コラボレーションツールを 体験する</p>	<p>部署間・ツール コラボレーション</p> <p>浸透活動 コラボレーションツールのファン を増やす</p>	<p>止まらない コラボレーション実 現</p> <p>全社展開 全社共通の コラボレーション基盤として 確立させる</p>
対象	情シス、総務、人事	営業、営業支援	全社員
施策	<ul style="list-style-type: none"> 通常業務でどのようにツールを使っていくか、簡単なルールを作る ツールを使うことによるメリットを体感し、メンバー同士でシェアし合う 	<ul style="list-style-type: none"> Step1での実体験をもとに、利用マニュアルや効果的なユースケース集を作成する 対象部門に対し、利活用ワークショップを実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 社内ポータル上に、すでに利用しているユーザの成功体験などのユースケースを共有する 全社員向けの利活用勉強会を実施する
効果	利用メンバーが、 ツールの使い方とその効果を明確に理解 することができた	実際に利用してくれるユーザを拡大し、 ツールの良さを広めてくれる広告塔（ファン）を増やす ことができた	全員が共通の基盤を使って、コミュニケーションをとることができる環境を作ったことで、 部署の垣根を越えた社員同士の連携が強化 された

イノベーションの実現

まとめると・・・



イノベーションの実現

コラボレーションツールは、導入しても ユーザに使われなければ効果がでない！

そのため、実際に使ってもらうための施策が非常に重要

ADMIRE COMPANY

管理本部向け Webex勉強会

本勉強会の目的とGOAL

目的

必要な時に ICT (Webex) を活用し、
日々の業務を効率よく実施する

GOAL

1. Webex会議に参加できるようになる
2. Webex会議を開催できるようになる

ネットワンシステムズ株式会社
市場開発本部 ICT戦略支援部
ワークスタイル変革チーム

© NetOneSystems Co., Ltd. All rights reserved.



つなぐ ∟ むすぶ ∟ かわる



net one